令和７年度　奈良輪小学校の教育

１　学校経営の理念

学校は児童一人一人の成長を保証する場である。そのために教職員は、各々創意工夫をこらし、協働のもと、積極的に学校運営に参画しなければならない。
令和７年度の奈良輪小学校は、『生きる力』を育むことを目指し、生涯学習の基盤づくりとして「かしこい子」、「やさしい子」、「たくましい子」の調和のとれた児童の育成に向けて全職員一丸となって全力を尽くす。
学校の主役は子供たちである。その子供たちの**「創造し　支え合い　高め合う子供の育成」**が本校のめざす学校である。そのために、子供たち一人一人に、①夢（目標）を持たせ②前向きに③挑戦する心を培うことの３点を重視する。
また、学校の主役は子供たちに他ならないが、子供たちを主役にするのは教師一人一人である。そこで、教師自らも①夢（目標）を持ち②教育活動を創造し③最後まであきらめずできることを増やす指導にあたる。教師一人一人が「夢」と「創造」、「意欲」と「あきらめない心」を大切にすることを基本理念とする。

２　めざす学校像・・・『魅力ある学校』

『魅力ある学校』・・・それは、子供たちが「入ってよかった」と思う学校である。
『魅力ある学校』・・・それは、保護者が「我が子を通わせてよかった」と思う学校である。
『魅力ある学校』・・・それは、教職員が「明るく働きがいのある」学校である。
『魅力ある学校』・・・それは、地域が「親しみがあり、協力を惜しまない」学校である。
私たちは、奈良輪小をこんな『魅力ある学校』にしたい。

３　めざす教師像・・・『高い目的意識を持つ教師』

イソップ寓話「三人のレンガ職人」より
レンガ職人 A「レンガを 100 個積むように命令されたので、その通りにしている」
レンガ職人 B「家族のために、レンガを 100 個積んでいる」
レンガ職人 C「世界一の大聖堂にするために、レンガ 100 個を積んでいる」

目的を正確にしっかり持つことは、その目的を果たすためにどのように子供たちへアプローチしていくかの目標設定に関わる重要なことである。また、高い目的意識は、教師が強い使命感を持つとともに、子供たち自身が高い目指す姿を求めることとなる。故に高い目的意識は、理想の教育を行う上で、全ての源になると考える。

⇩

私たち奈良輪小学校の職員は、『高い目的意識を持つ教師』を目指す。さらに、一人一人の子供たち、保護者に対して「誠意」を持って接することを約束する。

４　学校教育目標と目指す子供の姿

学校教育目標

創造し　支え合い　高め合う子供の育成
～　かしこい子・心豊かな子・たくましい子を目指して　～

目指す子供の姿

かしこい子（知）	心豊かな子（徳）	たくましい子（体）

５　重点事項とめざす具体的な子供の姿（学年目標）

重点事項

（１）児童一人一人に「確かな学力」を育む。
　→知識・技能の定着を図る　　思考力・判断力を育成する　　主体的に学習に取り組む態度を育成する
（２）児童一人一人に「豊かな心」を育む。
　→挨拶・返事の指導の充実を図る　　思いやりの心を育てる　　協力する心を育てる
（３）児童一人一人に「たくましい体と心」を育む。
　→基本的生活習慣の定着を図る　日常的な体力づくりの充実を図る　粘り強くできることを積み上げる取り組みの充実

	かしこい子	心豊かな子	たくましい子
特支	自分の思いを伝えることのできる子	友達と支え合い、優しくできる子	目標に向かって高め合う子
１年	目を見て話しが聞ける子	友達と仲良くする子	元気よく遊ぶ子
２年	話をよく聞き、自分で考えようとする子	友達と助け合い、思いやれる子	ねばり強くがんばる子
３年	話をよく聞き、進んで考える子	友達を思いやり、助け合える子	めあてをもち最後まで頑張る子
４年	めあてをもち、進んで考える子	相手の気持ちを考えて行動できる子	目標をもって最後まで頑張る子
５年	めあてをもち、自分から進んで学ぶ子	相手の気持ちを考え、自分から行動できる子	心・技・体を磨き、自分を高めようとする子
６年	目標をもって取り組み、自分の考えを表現できる子	自分と相手を大切にして行動できる子	よりよい自分になるために最後までやり抜く子

６　指導方針と指導の重点

指　導　方　針

「学力向上」と「より良い人間関係づくり」を推進する。

（１）　かしこい子 → 確かな学力の育成 →

「思考型学習問題」「思考の流れを可視化する板書」「一人一人に合ったノート指導」

①　知識及び技能の定着化を図る
- 板書計画とノート指導の充実
- 読書、視写、作文の推進
- ならわタイムの活用（習得学習の実施）

②　思考力・判断力を育成する
- 思考型の問題解決的な学習過程の推進
- 学習の見通しを持つ授業の工夫

③　主体的に学習に取り組む態度を育成する
- 切実感のある学習素材の工夫
- 目標の明確化
- 計画、指導と評価の一体化

（２）　心豊かな子 → 豊かな心の育成 →

「あいさつ」「ルール」「そうじ」

①　挨拶・返事の指導の充実を図る
- 児童が進んでさわやかなあいさつを行う
- 自ら挨拶・返事ができる環境づくり
- 互いに支え合う人間関係づくりの充実

②　思いやりの心を育てる
- 道徳教育、読書活動、ペア活動の充実
- 交流及び協同学習の充実
- いじめ撲滅運動の開催

③　協力する心を育てる
- 清掃活動（黙動）の充実
- 発達段階に応じた学校行事の推進
- 「奈良輪小の生活（約束）」「がうらっ子の心得」の活用

（３）　たくましい子 → たくましい体と心の育成→

「本気」「根気」「全力」

①　基本的生活習慣の定着を図る
- 「早寝、早起き、朝ごはん」「歯磨き」の推進
- 食に関する指導、保健指導、安全指導の充実

②　日常的な体力づくりの充実を図る
- 児童の実態を踏まえた正課時体育の充実
- 発達段階に応じた課題の設定

③　粘り強くできることを積み上げる取り組みの充実
- スモールステップによる指導
- 個に応じた課題設定

７　経営方針と経営の重点

経　営　方　針

日々の指導を通し、保護者、地域から信頼される学校をつくる

子供たちが入ってよかった　保護者が我が子を通わせてよかった　職員が明るく働きがいのある

（１）　高め合う教師集団→指導の充実・改善に一丸となって取り組む職員体制づくり

①　きめ細かな指導のための職員体制づくり

- 効果的な組織づくり
- 運営委員会や学年会の充実
- 生徒指導体制の充実
- 特別支援教育の体制整備の充実

②　日々の授業改善と校内研修の充実

- 学年単位や学年を超えた授業実践の交流
- 経験層別研修の実施
- 国語科、算数科、特別支援教育を主とした研究の推進

③　組織マネジメントによる教育活動の改善

- 教育課程の見直しを定期的に行い、効果的な教育活活動の実践
- 学校評価の活用
- 目標申告、職務能力開発シートの活用

④　モラールの向上と服務の厳正

- モラールアップ委員会の充実
- 不祥事の未然防止に係る自己分析シート等の活用

（２）　安全・安心な学校→児童の安全確保に努め、隅々まで心の行き届いた環境づくり

①　徹底した安全点検と日常的な安全確保

- 複数の目による定期的な安全点検の実施
- 安全管理に重点を置いた教育活動の実践（下見、予備実験の実施）
- 学校事故対応に関する指針に基づいた対応

②　災害から身を守る環境の整備

- 危機管理マニュアルの随時見直し
- 計画的な実効性のある避難訓練の実施

③　登下校の安全確保

- 保護者や地域との連携
- 子ども１１０番の周知

④　生徒指導の充実と心が通い合う環境づくり

- いじめ防止に関する取り組みの充実
- 充実した教育相談体制づくり
- 掲示物の工夫

（３）　地域や関係機関と歩む学校

→地域に開かれ、家庭･地域と共に児童をはぐくむ学校体制づくり

①　授業、行事等の公開と迅速な連絡

- 積極的な授業や行事の公開
- 学校連絡メール、連絡帳の活用
- ホームページ、学校だよりの充実

②　地区住民会議等との連携

- 坂戸の森みどりの会との連携
- 愛のパトロールの実施

③　学校、福祉機関との連携

- 保幼小中高の情報交換会の実施
- 市教育委員会、市福祉部、学童保育、放課後等デイサービス事業所等との情報交換

④　地域施設、人材の積極的な活用

- 博物館、図書館、地域人材や団体の活用
- 学校支援ボランティア活動の充実